

証券コード 6859

エスペック株式会社

2023年度(2024年3月期) 第1四半期決算について

2023年8月23日

エスペック株式会社

2023年度第1四半期 決算概要

IoT分野およびEV向けが好調、受注高は高水準を維持
部材確保・生産対応強化により大幅に増収増益、過去最高を更新

	前年同期比	予想比
■ 受注高	△ 部品不足に伴う製品納期長期化により前倒し受注があった前年同期比では減少したが、高水準	○ すべての事業が上回る 特に装置事業の環境試験器、エナジーデバイス装置が上回る
■ 売上高	○ すべての事業が増加、特に装置事業(環境試験器)が大幅増	○ すべての事業がやや上回り 予想通り
■ 営業利益	○ 販管費は増加したが、増収により大幅増	○ 販管費は上回ったが、売上高の上振れにより予想通り
■ 経常利益 親会社株主に帰属する四半期純利益	○ 営業利益の増加により大幅増	○ 営業利益の上振れにより上回る

損益の状況

(百万円)

	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比
受注高	16,493	15,539	△5.8%
売上高	8,725	12,275	+40.7%
売上原価 (原価率)	5,820 (66.7%)	8,042 (65.5%)	+38.2% 1.2pt改善
売上総利益	2,905	4,232	+45.7%
販管費	3,037	3,443	+13.4%
営業利益	△131	789	-
経常利益	111	947	+749.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△62	565	-

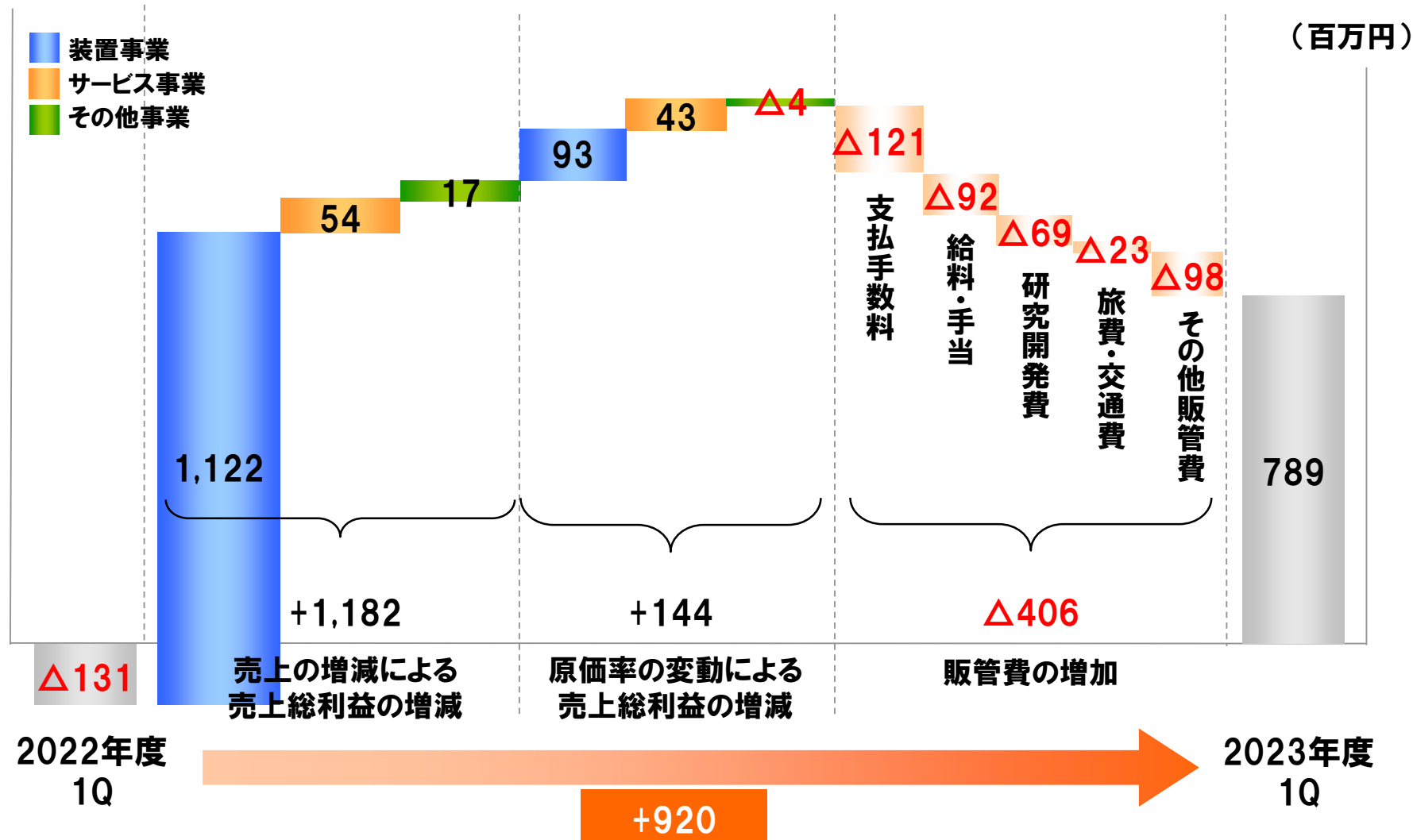
セグメント別の損益の状況

(百万円)

		2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比
装置事業	受注高	14,406	13,325	△7.5%
	売上高	7,221	10,580	+46.5%
	営業利益	△45	803	-
サービス事業	受注高	1,820	1,914	+5.2%
	売上高	1,421	1,592	+12.0%
	営業利益	△27	38	-
その他事業	受注高	334	411	+22.9%
	売上高	135	199	+46.8%
	営業利益	△56	△48	-
連結消去	受注高	△67	△112	-
	売上高	△52	△96	-
	営業利益	△0	△3	-
計	受注高	16,493	15,539	△5.8%
	売上高	8,725	12,275	+40.7%
	営業利益	△131	789	-

営業利益の増減要因分析

■ 販管費が増加したが、主に装置事業の増収により大幅増益



※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

装置事業セグメント

(百万円)

	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比
受注高	14,406	13,325	△7.5%
売上高	7,221	10,580	+46.5%
営業利益 [利益率(%)]	△45 △0.6%	803 7.6%	-

環境試験器

- 国内では、受注高は前年同期比で汎用性の高い標準製品が減少したものの、カスタム製品は自動車関連を中心に増加。売上高も大幅に増加
- 海外では、受注高は前年同期を下回ったものの、売上高はすべてのエリアで上回る。特に中国、北米、欧州が増加。

エネルギーデバイス装置

- 電気自動車(EV)・二次電池向けの投資拡大により、主に国内において充放電試験用チャンバーが好調に推移し、受注高・売上高が前年同期比で大幅に増加

半導体関連装置

- 主力のバーンインチャンバーで顧客の計画遅れの影響を受けたが、車載半導体の検査需要を背景に、受注高・売上高ともに前年同期比で増加

サービス事業セグメント

(百万円)

	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比
受注高	1,820	1,914	+5.2%
売上高	1,421	1,592	+12.0%
営業利益 [利益率(%)]	△27 △2.0%	38 2.4%	-

アフターサービス・エンジニアリング

- 予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、受注高は前年同期並み、売上高は増加

受託試験・レンタル

- 車載用バッテリーを中心に受託試験が堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同期比で増加

その他事業セグメント

(百万円)

	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	前年同期比
受注高	334	411	+22.9%
売上高	135	199	+46.8%
営業利益 [利益率(%)]	△56 △41.8%	△48 △24.5%	-

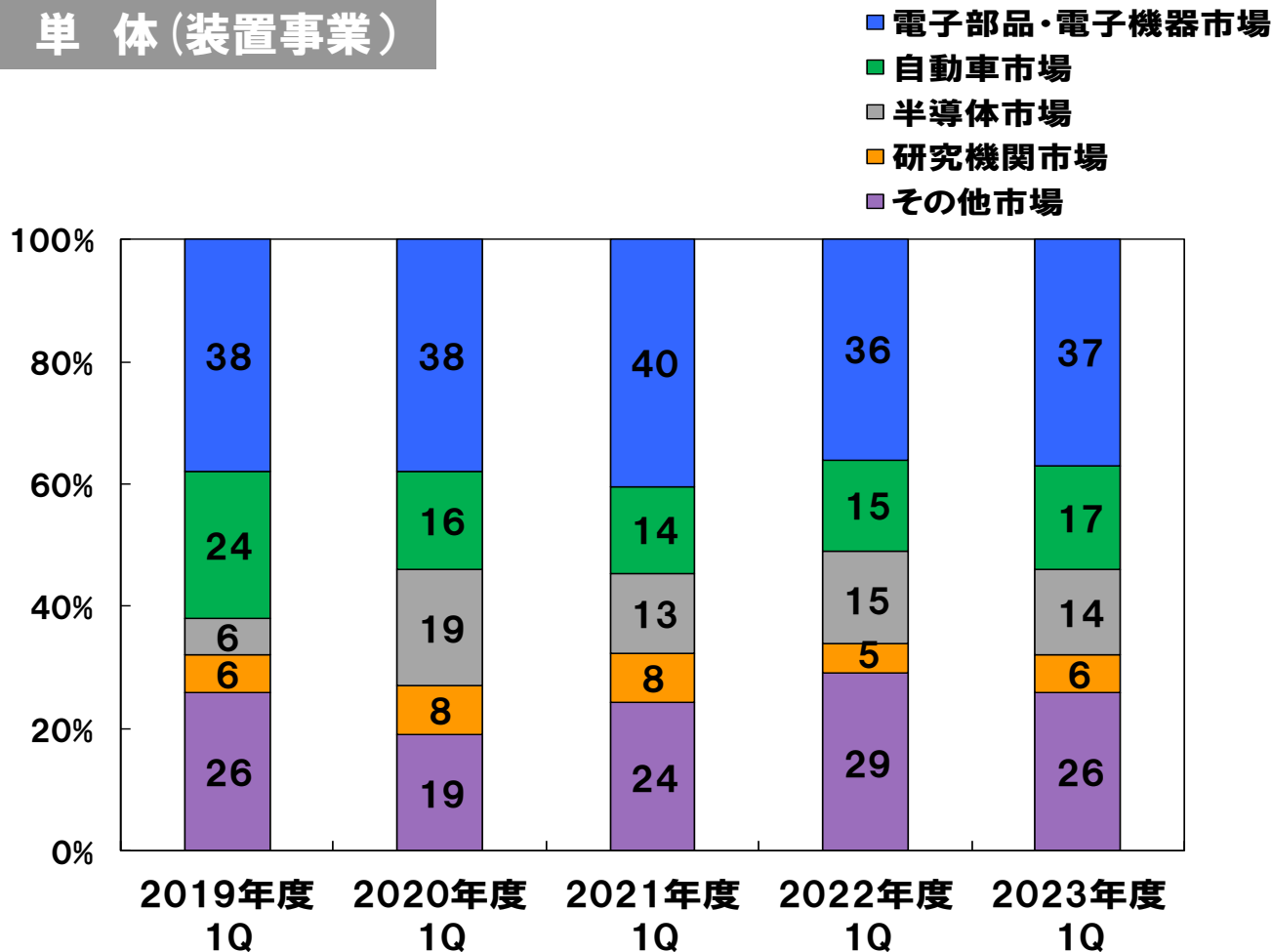
環境保全・植物育成装置

- 植物研究用装置の受注高が前年同期を上回るとともに、植物の水耕栽培と陸上養殖を組み合わせたアクアポニックスの受注を獲得

市場別売上構成比

■ 調達活動の強化により生産量を確保し、いずれの市場も売上高が増加
特に先端技術分野であるIoTおよびEV関連市場を中心に拡大

単 体 (装置事業)

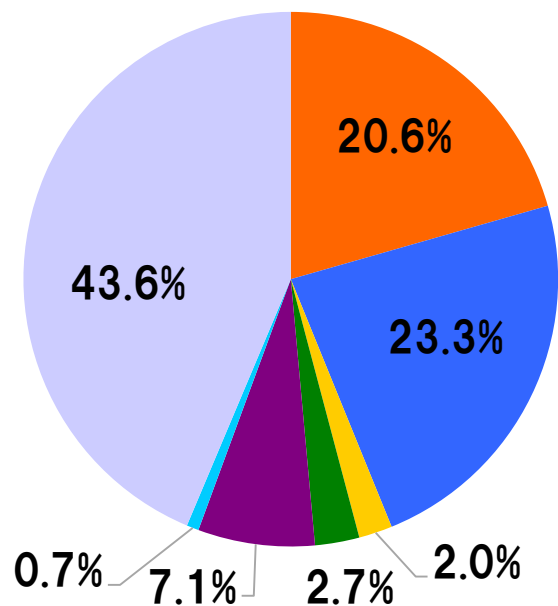


地域別売上構成比

■ すべてのエリアで売上高が増加。特に中国、北米、欧州が増加し海外売上高比率が上昇

2022年度 1Q

海外売上高比率:56.4%

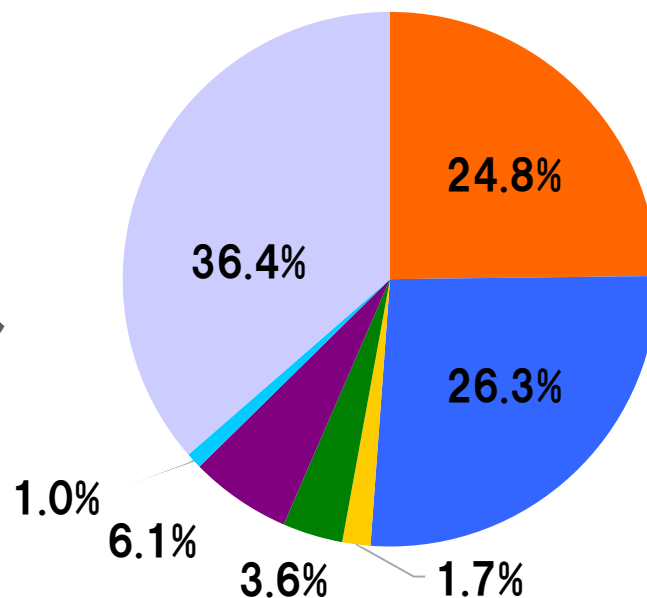


計 8,725百万円

(海外売上高:4,918百万円)

2023年度 1Q

海外売上高比率:63.6%



計 12,275百万円

(海外売上高:7,808百万円)

2023年度 業績予想

(百万円)

	2022年度	2023年度				
	通期実績	1Q 実績	予想			
			上期	下期	通期	前期比
受注高	59,521	15,539	26,500	27,500	54,000	△9.3%
売上高	52,892	12,275	26,000	30,000	56,000	+5.9%
売上総利益 [利益率(%)]	17,957 34.0%	4,232 34.5%	8,750 33.7%	10,250 34.2%	19,000 33.9%	+5.8% △0.1pt
販管費 [販管費率(%)]	13,590 25.7%	3,443 28.1%	6,900 26.5%	7,100 23.7%	14,000 25.0%	+3.0% △0.7pt
営業利益 [利益率(%)]	4,366 8.3%	789 6.4%	1,850 7.1%	3,150 10.5%	5,000 8.9%	+14.5% +0.6pt
経常利益 [利益率(%)]	4,664 8.8%	947 7.7%	1,950 7.5%	3,150 10.5%	5,100 9.1%	+9.3% +0.3pt
親会社株主に帰属する 当期純利益 [利益率(%)]	3,330 6.3%	565 4.6%	1,300 5.0%	2,350 7.8%	3,650 6.5%	+9.6% +0.2pt

ROE(自己資本利益率) 2023年度目標 7.5%(前期比+0.3pt)

※2023年8月9日、「事業の一部譲受および新会社設立に関するお知らせ」を開示しています。
当社業績に与える影響については現在精査中です。

セグメント別の業績予想

(百万円)

		2022年度	2023年度				
		通期実績	1Q実績	予想			
				上期	下期	通期	前期比
装置事業	受注高	51,446	13,325	22,550	22,950	45,500	△11.6%
	売上高	45,031	10,580	22,450	25,250	47,700	+5.9%
	営業利益	3,919	803	1,870	2,800	4,670	+19.1%
サービス事業	受注高	6,963	1,914	3,350	3,650	7,000	+0.5%
	売上高	6,788	1,592	3,150	3,750	6,900	+1.6%
	営業利益	428	38	30	270	300	△29.9%
その他事業	受注高	1,469	411	750	1,050	1,800	+22.5%
	売上高	1,404	199	550	1,150	1,700	+21.0%
	営業利益	16	△48	△50	80	30	+81.3%
連結消去	受注高	△359	△112	△150	△150	△300	-
	売上高	△330	△96	△150	△150	△300	-
	営業利益	1	△3	0	0	0	-
計	受注高	59,521	15,539	26,500	27,500	54,000	△9.3%
	売上高	52,892	12,275	26,000	30,000	56,000	+5.9%
	営業利益	4,366	789	1,850	3,150	5,000	+14.5%

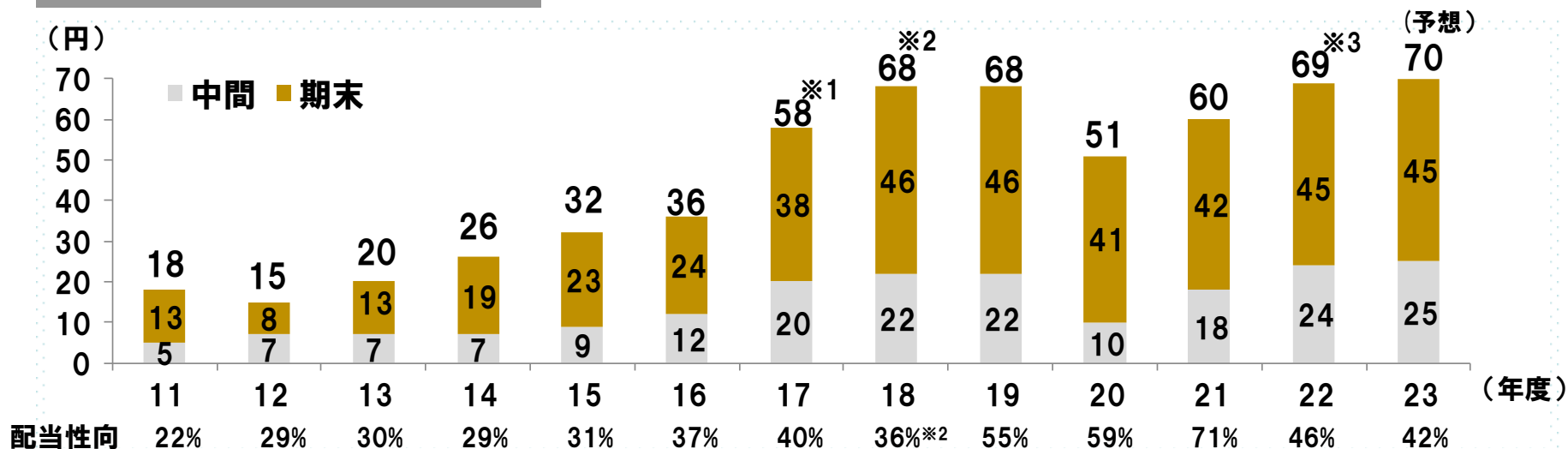
2023年度 配当予想

利益配分に関する基本方針

配当については継続性と連結配当性向を勘案して決定することを基本としています

- ・配当性向30%に加え、予定必要資金の超過金額の1/3を目途に配当として上乘せする
- ・安定配当として年20円の配当金を利益水準に関わらず維持するが、2期連続で最終赤字の場合は見直しを行う
- ・必要な内部留保の水準を考慮しつつ、自己株式取得を機動的に実施する

一株当たり配当金と配当性向



※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

2023年度の主な取り組み

装置事業

- ・収益力の向上、製品納期正常化および受注残高の早期解消
- ・グローバルに拡大するバッテリー市場への対応強化

サービス事業

アフターサービス:「スーパーサポートプラン」による予防保全サービスの拡大
受託試験 :自動車を中心とする先端技術分野向け試験サービスの拡充

エリア戦略

日本:EV・自動化、IoT分野のニーズに適合した製品投入による販売拡大、買替需要の喚起
北米:インフレ抑制法(IRA)による自動車市場の需要拡大への対応
中国:グループ連携によるEV、IoT市場への販売拡大
欧州:製品ラインアップ拡充による自動車およびIoT市場の開拓
韓国:グローバル大企業への販売拡大

2023年度ESGの主な取り組み

■E(環境)

- ・第8次環境中期計画(2022～2025年度)の推進
- ・地球温暖化対策:低GWP冷媒への置き換え
製造など事業活動におけるCO₂排出量削減
- ・生物多様性保全活動:エスペックミックスの事業による貢献
「エスペック50年の森」運営による保全活動の推進
- ・2030年度温室効果ガス削減目標SBT認定(2023年7月取得)

■S(社会)

- ・人的資本の強化:管理職のマネジメント力強化、人事評価制度・教育制度、
1on1の実施、次世代幹部育成
- ・ダイバーシティの推進:女性管理職の育成、シニア社員・外国人の活躍推進

■G(ガバナンス)

- ・グループガバナンスの強化および内部統制システムの整備・強化

半導体検査装置 高発熱負荷対応 「バーンインチャンバー」拡充

- ・2023年3月、 -20°C ～ $+150^{\circ}\text{C}$ において許容発熱量を4倍(当社従来装置比)に拡大したバーンインチャンバーを拡充
- ・半導体が高発熱状態でも精密に温度制御可能
- ・検査量を大幅に増加でき、検査時間短縮に貢献



高発熱負荷対応「バーンインチャンバー」

5G通信機器の温度特性試験に対応 「電波暗箱型恒温器」拡充

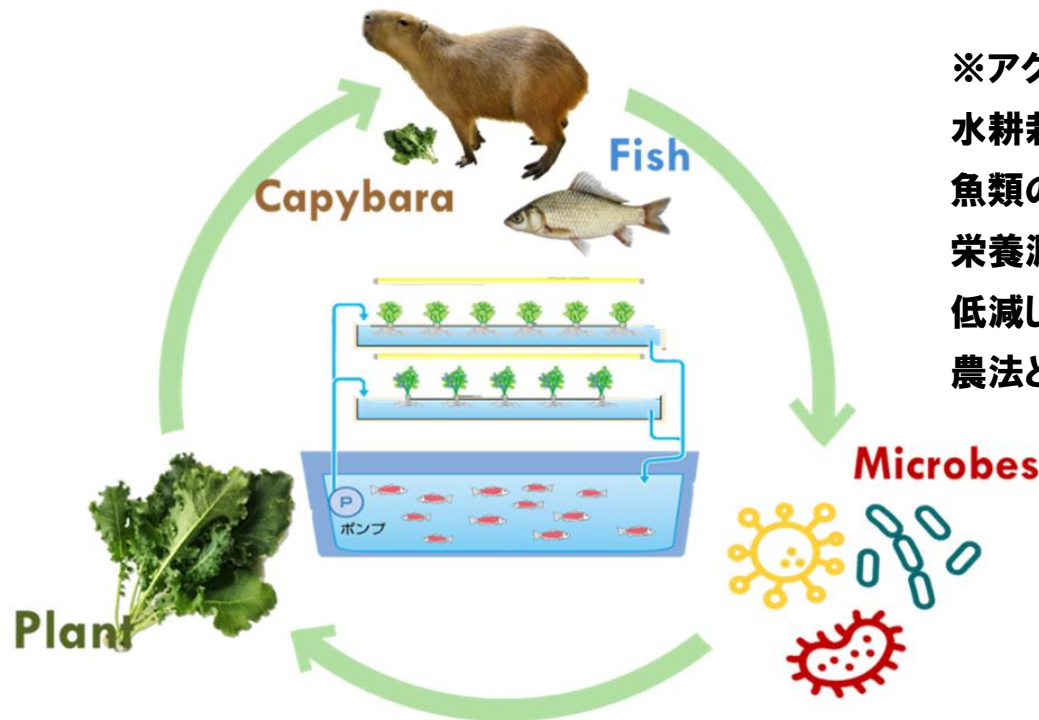
- ・2023年2月、5G対応の無線送受信モジュールや通信端末、基地局の通信性能や安全性を確認する電波暗箱型恒温器を新たに4器種開発
- ・シールド機能(電波を遮蔽)、電波暗箱機能(槽内での電波反射を防ぐ)を備え、 -40°C ～ $+100^{\circ}\text{C}$ の温度環境下での無線試験が可能



電波暗箱型低温恒温器

エスペックミック 川崎水族館（カワスイ）にて アクアポニックスを活用した共同研究を開始

2023年6月、エスペックミックが川崎水族館(カワスイ)、日本大学生物資源科学部 熱帯資源作物研究室と、アクアポニックスを活用した物質循環システムの実証実験に関する共同研究を開始



※アクアポニックスとは
水耕栽培と陸上養殖を掛け合わせたシステム。
魚類の糞尿を微生物分解させ、野菜生育に必要な
栄養源として活用。化学肥料を使用しない、または
低減した野菜生産が可能。近年、環境に配慮した
農法として注目が高まっている。

「アクアポニックスを活用した物質循環システム」イメージ図

兵庫県立大学と「SDGs推進」に関する協定を締結

- ・2022年8月、兵庫県立大学とSDGs推進を目的とした協定を締結
- ・生物多様性保全、教育・人材育成、環境・エネルギーなどの分野において両者が持つ知見や技術を活かして連携



締結式
兵庫県立大学 学長 太田勲様(右)
エスベック 代表取締役会長 石田雅昭(左)

生物多様性保全活動 「エスベック50年の森」植樹祭

- ・兵庫県三田市にて林野庁「法人の森林」制度を活用した森づくり「エスベック50年の森」を開始
- ・2022年11月、第1回植樹祭を開催
炭素固定・生物多様性機能をふまえ苗を選定
社員など約200名が参加し約4,000本を植樹



第1回植樹祭
3.6haの土地に2年間で12,000本を植樹予定

社外からの評価

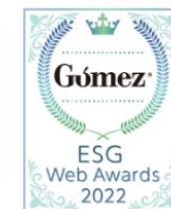
■2023年

- 6月・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に初選定
- 3月・CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に初選定
- 2月・東洋経済新報社「2023年版CSR企業ランキング」372位



■2022年

- 12月・CDP気候変動レポート2022において3年連続「Bスコア」
- ・日興アイ・アール「2022年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」2年連続最優秀サイト
- ・ブロードバンドセキュリティ「Gomez IRサイトランキング2022」銅賞（業種別24位）
- 11月・日本経済新聞社「第4回日経SDGs経営調査」4つ星
- ・日本経済新聞社「第6回日経スマートワーク経営調査」3.5星
- 10月・日刊工業新聞社（経産省後援）「第18回企業力ランキング」155位
- 8月・ブロードバンドセキュリティ「Gomez ESGサイトランキング2022」優秀企業に初選定
- 7月・東洋経済新報社「2022年版SDGs企業ランキング」334位
- 4月・ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に初選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。**

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

**サステナビリティ推進部 部長 中川
IR・広報グループ 大川・貝川**